

第3課 インドは好きですか？

■現在(未完了)時制

सब लोग ओसाका में रहते हैं।

√+ते コピュラ動詞

「皆大阪に住んでいます」

動作が反復されたり、継続中であることを示す動詞の形を「未完了分詞」と呼びます。主語の性・数にしたがって、語幹√に ता(男性・単数)、ते(男性・複数)、ती(女性・単数／複数)を加えます。これにコピュラ動詞の現在形をともなった形を「現在(未完了)時制」と呼びます。否定文ではしばしばコピュラ動詞は省略されます。(この場合、女性・複数に対応する未完了分詞 तीं が用いられます)主に2つの用法があります。

(1)その行為や状態が、現在において繰り返し行われたり、継続している様子を表現します。

आप तो अच्छी तरह जानती हैं। (√जान+ती(女性・複数) コピュラ動詞(二人称複数形))

あなたはよく知っています。

जापान में मैं अक्सर यह दवा खाती हूँ। (√खा+ती(女性・単数) コピュラ動詞(一人称単数形))

日本では私はいつもこの薬を飲んでいます。(第6課)

कानाए कुछ गलती भी नहीं करतीं। (√कर+तीं(女性・複数) コピュラ動詞省略)

かなえは何も間違ったことをしていません。(第12課)

(2)「今すぐ～します」という近い未来を表します。

[मैं] अभी निकालता हूँ। (√निकाल+ता(男性・単数) コピュラ動詞(一人称単数形))

[私は]すぐに出しましょう(第5課)

■与格構文(1)

आपको भारत कैसा लगता है ?

आप+को

लगना

「あなたはインドをどう思いますか？」

与格構文とは意味上の主語、あるいは動作・状態の結果が及ぶ対象を与格(後置詞 को をつけた形)で表現する構文です。内容は多岐にわたりますが、ここでは主な3つの用法を学びましょう。

ヒンディー語

(1) 動詞 लगना を用い、「(与格)にとって(主語)が～に思われる」という感覚を表します。

मुझे भीड़ अच्छी नहीं लगती ।

私にとって人混みがよく思えません。＝私は人混みが嫌いです。

(2) 動詞 मिलना を用い、「(与格)にとって(主語)が～得られる」という取得を表します。

घर में [मुझे] आराम मिलता है ।

家庭では[私に]安楽が得られます。＝家庭では私はほっとします。

(3) 形容詞 मालूम を用い、「(与格)にとって知られている」という認知を表します。

उन्हें भी तुम्हारे बारे में मालूम है ।

彼にとってもあなたについては知られています。＝彼もあなたについて知っています。

□基本の文型

ヒンディー語では原則的に主語＋目的語＋動詞の語順をとります。そのため、かなり日本語に近いといえるでしょう。否定文ではふつう否定辞は動詞の前に置きます。また平叙文の文頭に क्या を置くと、正否を問う疑問文になります。疑問詞を用いる場合は、平叙文における副詞の位置に疑問詞を置きかえます。また実際に主語がひとりの場合も、尊敬やていねいさを表すために複数形が用いられることがしばしばあります。

आज समय नहीं है ।(第2課)

今日は時間がありません。

क्या आप इसलिए हिंदी पढ़ती हैं ?

あなたはだからヒンディー語を勉強しているのですか？

आपके भाई साहब की उम्र क्या है ?

あなたのお兄さんの年齢は何(才)ですか？

आपके पिता जी कहाँ हैं ?

あなたのお父さんはどちらにいらっしゃいますか？